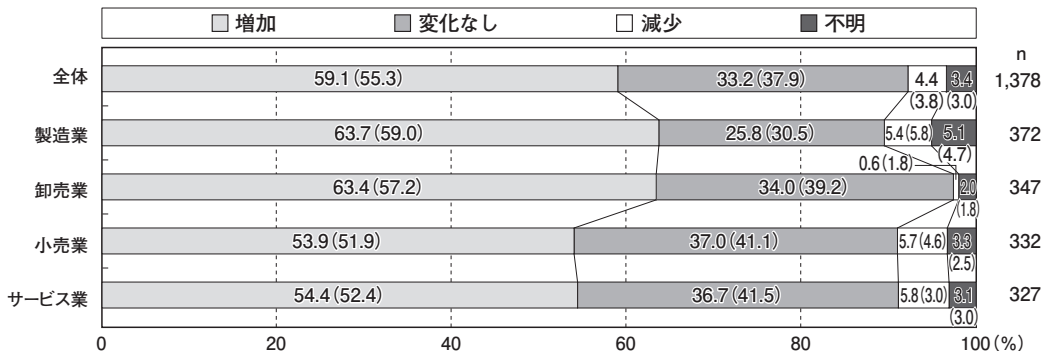


# 事業活動におけるコストの変動

## 1. コストの変化（前年同月比）

前年同月と比較した 2026年（令和 8年）4月の生産や販売、サービス提供に要するコストの変化を全体でみると、「増加」が 59.1%（前回調査 55.3%）と最も高く、「変化なし」が 33.2%（同37.9%）、「減少」が 4.4%（同3.8%）の順で続いた。

図表10 コストの変化（前年同月比）



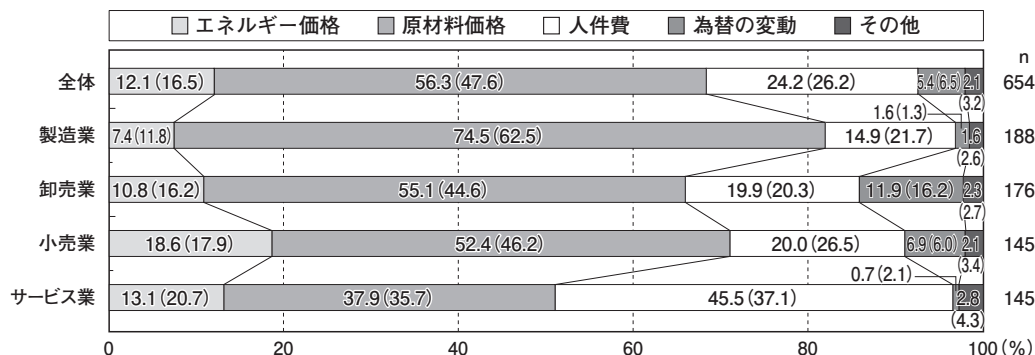
注) 無回答を除き集計。( )内は前回調査（令和 8年 4月）の数値。  
四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

## 2. コスト増加の最大の要因

生産や販売、サービス提供に要するコスト増加の最大の要因を全体でみると、「原材料価格」が 56.3%（前回調査 47.6%）と最も高く、「人件費」が 24.2%（同26.2%）、「エネルギー価格」が 12.1%（同16.5%）、「為替の変動」が 5.4%（同6.5%）の順で続いた。

業種別にみると、他の業種に比べて製造業は「原材料価格」の 74.5%（同62.5%）、卸売業は「為替の変動」の 11.9%（同16.2%）、小売業は「エネルギー価格」の 18.6%（同17.9%）、サービス業は「人件費」の 45.5%（同37.1%）がそれぞれ高い。

図表11 コスト増加の最大の要因



注) コストの変化（前年同月比）（図表10）で「増加」と回答した企業のうち無回答等を除き集計。  
( )内は前回調査（令和 8年 4月）の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。